



先日、「図書委員会ビブリオバトル」の予選が行われました。バトラーの皆さんは緊張したと思いますが、どの本も読んでみたくなる発表でした。せっかくなので、決勝が終わったのち、エントリーされた全ての本の紹介をしたいと思います。

10月号①で予告しておりました「読書アンケート」の全結果を図書館内と図書館前廊下に掲示しました。船高生の読書傾向やオススメがチェックできますよ！

ビブリオバトルに参加して

パネーム エタノール

今回、ビブリオバトルに参加してみて感じたのは、分かりやすく本の内容を伝えるのと、相手が読みたいと思うように発表することがとても難しかったということです。頭の中で言うことが決まっているはずなのに、本当にこれで相手に伝わるのかと不安になる場面もあったので、次に参加するときは思い切って頭の中で考えていることを言えるように頑張りたいと思います。

パネーム メタノール

ビブリオバトルに限らず本の紹介はあまりやったことがなく不安でした。でもいざやってみると自分の思っていたことなどを発言できたので良かったと思いました。今回紹介した本はラブストーリーで、自分はラブストーリーを読むのは初めてでどのように紹介すればいいか迷ってしまっただけで紹介の内容を考えるのが大変でした。

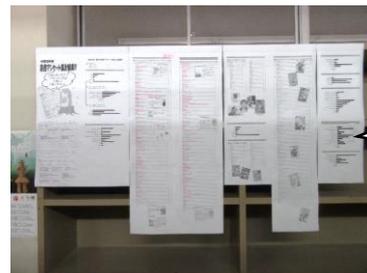


読書アンケート全結果掲示

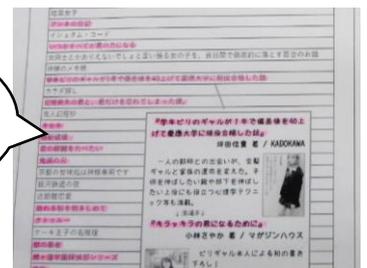
図書館内



図書館前廊下



本校図書館に所蔵されている本にはマーカーが引いてあります。



今月のオススメ

パネーム 司書

『キャラでわかる！
はじめての感染症図鑑』
岡田晴恵 著
日本図書センター

かわいらしくキャラクター化された病原体たちが、とても丁寧に分かりやすく感染した際の症状や予防について教えてくれます。インフルエンザも流行りだす時期、一度おさらいしてみては？

